

東郷町地域福祉計画・地域福祉活動計画 目標値及び評価方法について

1 概要

- 地域福祉計画・地域福祉活動計画には、「実施目標」と「成果指標」を設定します。
- 「実施目標」に向けて各取組が推進されることで、成果指標の目標達成につながるようにします。

2 実施目標とその評価について

- 実施目標は、地域福祉計画・地域福祉活動計画の第4章「基本施策の展開」における町及び社会福祉協議会の取組ごとに設定します。
- 実施目標は、中間年度（令和4年度）と最終年度（令和7年度）の2つを設定します。ただし、各取組の進捗管理は毎年度行います。

■イメージ

取組内容	指標	実績 (令和元年度)	目標 (令和4年度)	目標 (令和7年度)
認知症理解のための講座	開催回数（回）	6回	8回	10回

- 計画書には、上記イメージは記載せず、実施目標について文章で表記します。
- 評価は、A・B・C・D・Eの5段階で行うこととし、評価区分は次のとおりです。

中間年度（令和4年度）

- A：十分に達成している（令和4年度の目標値達成）
- B：概ね達成している（令和4年度の目標値の80%以上達成）
- C：まあまあ達成している（令和4年度の目標値の50%以上達成）
- D：あまり達成していない（現況値より進捗している）
- E：まったく達成していない（現況値のまま又は現況値より下回っている）

最終年度（令和7年度）

- A：十分に達成している（令和7年度の目標値達成）
- B：概ね達成している（令和7年度の目標値の80%以上達成）
- C：まあまあ達成している（令和7年度の目標値の50%以上達成）
- D：あまり達成していない（現況値より進捗している）
- E：まったく達成していない（現況値のまま又は現況値より下回っている）

3 成果指標とその評価について

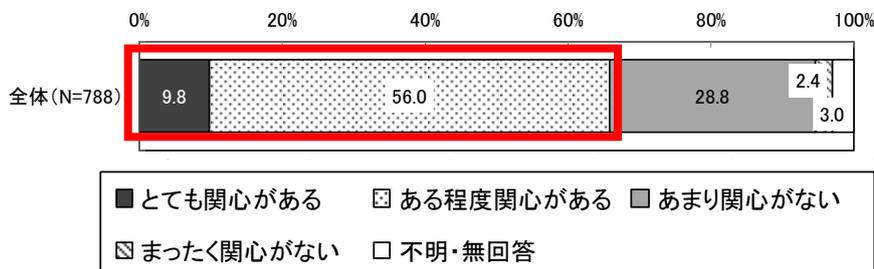
- 成果指標は、アンケート調査結果から抜粋し、基本目標ごとに1つ設定します。
- 第2期策定前（令和5年度）に行うアンケート調査により、その達成状況を評価します。

4 成果指標の目標値（案）について

基本目標1 みんなの困りごとを早期発見・予防する仕組みづくり

問8 あなたは、地域の福祉について関心はありますか。（単数回答）

地域の福祉への関心については、「ある程度関心がある」が56%と最も高く、次いで「あまり関心がない」が28.8%、「とても関心がある」が9.8%となっています。



成果指標	現状	目標値（案）
「とても関心がある」「ある程度関心がある」の数値向上	65.8%	76%

【目標値の算出根拠・考え方】

「とても関心がある」「ある程度関心がある」人の割合を、本町の住民意向調査の「まちづくりに関心がある人」の割合に近付けるため、10ポイント増加した76%を目標値とします。

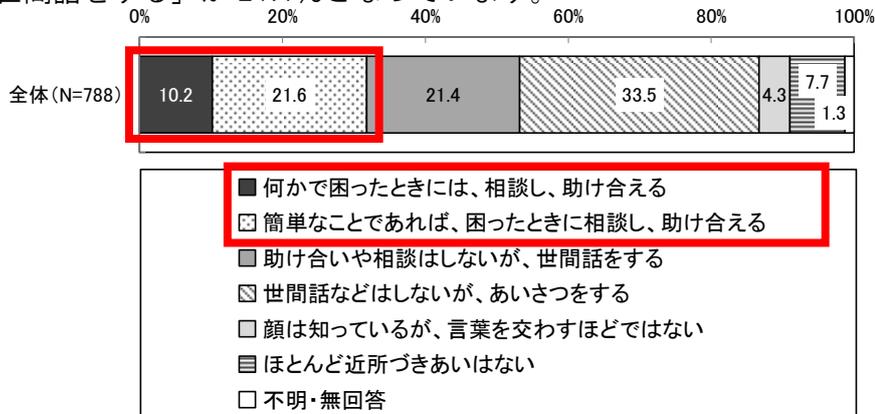
【参考】

- ・「第6次東郷町総合計画」策定における住民意向調査（H30.11月実施）
東郷町の町政（まちづくり）に関心がある人の割合 76.5%
- ・長久手市 市民意識調査（H29.3月実施）
市政への関心がある人の割合 69.3%

基本目標2 みんなでつなぎ・みんながつながる体制づくり

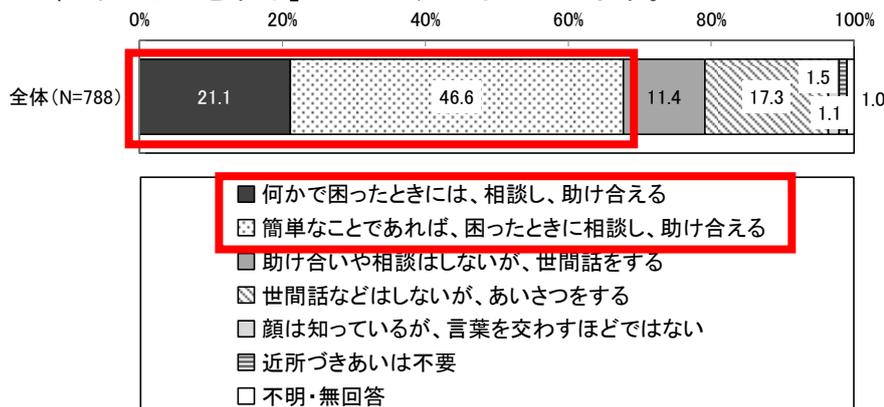
問9 あなたは、**現在**、どの程度「ご近所づきあい」をしていますか。(単数回答)

ご近所づきあいについては、「世間話などはしないが、あいさつをする」が33.5%と最も高く、次いで「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える」が21.6%、「助け合いや相談はしないが、世間話をする」が21.4%となっています。



問10 あなたは、今後、どの程度の「ご近所づきあい」を**理想**としますか。(単数回答)

理想のご近所づきあいについては、「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える」が46.6%と最も高く、次いで「何かで困ったときには、相談し、助け合える」が21.1%、「世間話などはしないが、あいさつをする」が17.3%となっています。



成果指標	現状	目標値(案)
「何か困ったときには、相談し、助け合える」「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える」人の割合の増加	31.8%	42%

【目標値の算出根拠・考え方】

「何か困ったときには、相談し、助け合える」「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える」人を「理想のご近所づきあい」の割合(67.7%)に近づけるため、10ポイント増加した42%を目標値とします。(「理想」と「現在」のギャップ:35.9%)

【参考】

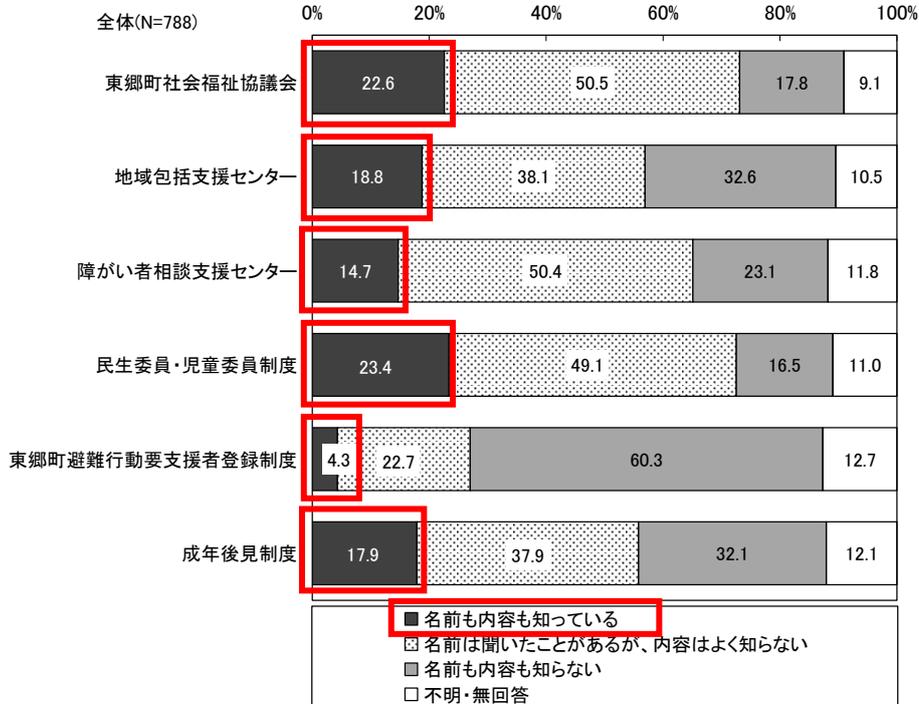
- ・長久手市 地域福祉に関する市民意識調査 (H30.5月実施)
「困っているときには相談し、助け合っている」「内容によっては相談し、助け合っている」人:20.4%
- ・日進市 市民意識調査 (H30.7月実施)
「となり近所の人困りごとをお手伝いした経験」について「ある」と回答した人:31.8%
- ・豊明市 地域福祉計画に関連したアンケート調査 (H20.8月実施)
「近所の人に対するお手伝いの経験」について「ある」と回答した人:32.2%
- ・みよし市 地域福祉に関するアンケート調査 (H26.10月実施)
ご近所付き合いについて「特に用事がなくても行き来し、助け合いができる関係」と回答した人:18.4%

基本目標3 丸ごと受け止める体制づくり

問28 あなたは、以下の組織・制度を知っていますか。(単数回答)

組織・制度の認知度については、東郷町社会福祉協議会、地域包括支援センター、障がい者相談支援センター、民生委員・児童委員制度で「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が最も高くなっています。

東郷町避難行動要支援者登録制度では「名前も内容も知らない」が最も高く、成年後見制度では「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が最も高くなっています。



成果指標	現状	目標値 (案)
組織・制度の認知度の向上 (「名前も内容も知っている」の数値向上)	グラフのとおり	各15ポイント増加

【目標値の算出根拠・考え方】

地域の中で“丸ごと”受け止める体制づくりには、早期発見した困りごと等をどこにつなげば良いのかを多くの人に知っていただくことが必要です。

計画には、組織・制度の周知について明記した取組を盛り込むことから、取組が成果指標に結び付きやすいと考えるため、組織・制度について「名前も内容も知っている」人の割合を各15ポイント増加することを目指します。

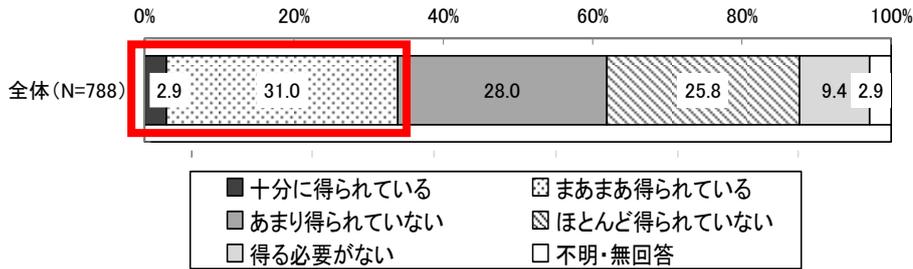
【参考】

- ・長久手市 地域福祉に関する市民意識調査 (H30.5月)
 - 市社会福祉協議会「実施している内容も含め知っている」人の割合：17.1%
 - 民生委員児童委員「よく知っている」人の割合：18.1%
 - 避難行動要支援者「よく知っている」人の割合：5.9%
 - 成年後見制度「よく知っている」人の割合：11.4%

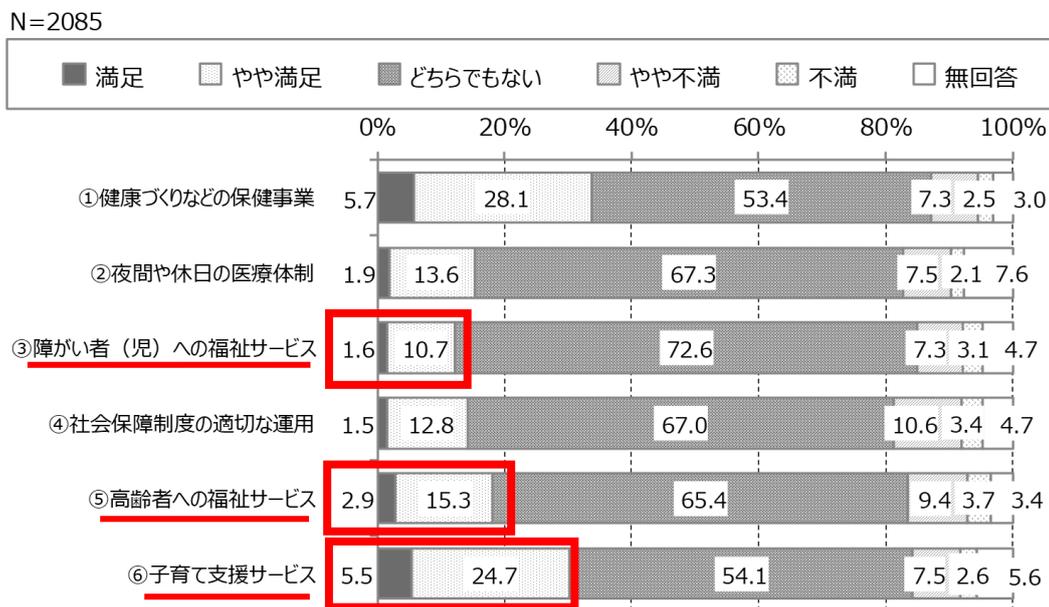
基本目標 4 適切な福祉サービスの提供

問 20 あなたは、日々の生活に必要な福祉の情報が得られていますか。(単数回答)

福祉の情報については、「まあまあ得られている」が31.0%と最も高く、次いで「あまり得られていない」が28.0%、「ほとんど得られていない」が25.8%となっています。



問 14 東郷町の取組について、どの程度満足を感じていますか。(平成 30 年度東郷町住民意向調査)



成果指標	現状	目標値(案)
必要な福祉の情報について、「十分に得られている」「まあまあ得られている」の数値向上	33.9%	50%
「障がい者(児)への福祉サービス」・「高齢者への福祉サービス」・「子育て支援サービス」について、「満足」「やや満足」の数値向上	グラフのとおり	各 10 ポイント増加

【目標値の算出根拠・考え方】

- ・町民の2人に1人が「十分に得られている」「まあまあ得られている」となるようにします。
- ・福祉分野のサービスについて、「満足」「やや満足」と感じている人の割合を各 10 ポイント増加することを目指します。

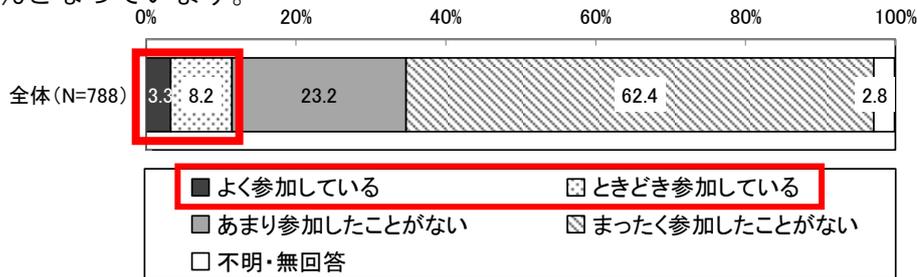
【参考】

- ・尾張旭市地域福祉計画に関するアンケート調査
「必要な福祉サービスの情報を入手できている市民の割合」：25.2%
- ・日進市 市民意識調査 (H30.7月実施)
「障がい者(児)に対する福祉サービス」について「満足」「まあ満足」の割合：16.4%
「高齢者に対する福祉サービス」について「満足」「まあ満足」の割合：20.1%
「子育てに対する支援」について「満足」「まあ満足」の割合：27.7%

基本目標5 見守り・支え合い体制の充実 ～合言葉はお互いさま～

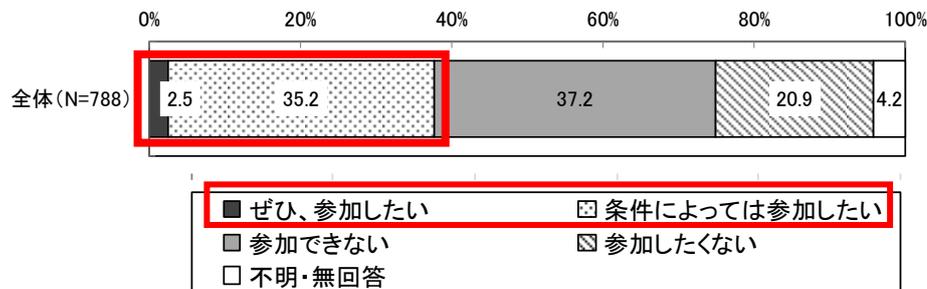
問 23 あなたは、ボランティア・町民主体の活動やNPO活動に参加していますか。(単数回答)

ボランティア・町民主体の活動やNPO活動への参加については、「まったく参加したことがない」が62.4%と最も高く、次いで「あまり参加したことがない」が23.2%、「ときどき参加している」が8.2%となっています。



問 24 あなたは、今後、ボランティア・町民主体の活動やNPO活動に参加してみたいと思いますか。(単数回答)

今後、参加してみたいと思うボランティア・町民主体の活動やNPO活動については、「参加できない」が37.2%と最も高く、次いで「条件によっては参加したい」が35.2%、「参加したくない」が20.9%となっています。



成果指標	現状	目標値 (案)
ボランティア・町民主体の活動やNPO活動に参加したことがある人の割合の増加	11.5%	20%

【目標値の算出根拠・考え方】

ボランティア等に「よく参加している」「ときどき参加している」人を「ぜひ、参加したい」「条件によっては参加したい」の割合に近付けるため、8.5ポイント増加した20%とします。(「理想」と「現在」のギャップ：26.2%)

【参考】

- ・「第6次東郷町総合計画」策定における住民意向調査 (H30.11月実施)
地域活動やボランティア活動に参加している人の割合：41%
- ・長久手市 市民意識調査 (H28.10～11月実施)
過去3年以内に「各種ボランティア活動」に参加していると回答した人：14.0%
- ・尾張旭市 地域福祉計画に関するアンケート調査
NPO活動やボランティア活動に参加したことがある市民の割合：39.2% (目標値：42%)
- ・日進市 市民意識調査 (H30.7月実施)
NPO・ボランティアへの参加経験について「参加したことがある」と答えた人の割合：14.7%
- ・豊明市 地域福祉計画に関連したアンケート調査 (H20.8月実施)
NPOやボランティア活動への参加軽々：1割前後